

NPO法人フリースペースたまりば

(1991年設立)

《指定管理施設》

フリースペースえん の取り組み

NPO法人フリースペースたまりば理事長
川崎市子ども夢パーク所長
西野博之

川崎市子ども夢パーク 2003年開設 (10,000㎡)



・「川崎市
子ども権利に関する条例」の
具現化を目指した
青少年教育施設

川崎市

所管：川崎市市民・こども局こども本部青少年育成課



川崎市子ども夢パーク共同運営事業体

公益財団法人
川崎市生涯学習財団

NPO法人
フリースペース たまりば



川崎市子ども夢パーク(フリースペースえん)

子ども夢パークの特徴

同じ敷地内に

・冒険遊び場(プレーパーク)

と

・不登校児童・生徒の居場所
フリースペースえん

がある



10,000㎡の敷地
の中の冒険遊び場
(プレーパーク)



やってみたいこ
とに挑戦できる
環境

「ケガと弁当、自分もち」



火・水・土・工具が
使える

～自分の責任で
自由に遊ぶ～



遊具はすべて
手づくり



5感を使って、群れて遊ぶ。
～快・不快を手に入れる～
遊びを通して、人間関係を育む



全天候型
スポーツ広場

夜間照明つき



音楽スタジオ

2013年度利用者状況
 年間利用者 約9万3000人
 (10年間に利用者は70万人を突破)

<スタッフ体制>

夢パーク 9名
 フリースペースえん 10名



川崎市
 子ども夢パーク

フリースペースえん プレーパーク

不登校児童生徒
 の居場所

共に
 過
 ぎ
 す

放課後の子ども
 たちの遊び場

公設民営
 フリースペース えん



フリースペースえんとは…

さまざまな背景を持つ不登校児童生徒の
 権利保障を目指してつくられた
 公設民営のフリースペース。

発達・知的・精神・身体などさまざまな障害や
 非行などの背景を持つ子ども・若者たちも受け
 入れている

- ・会費 無料 (昼食を食べた人は250円)
- ・会員登録制
- ・義務教育年齢にとらわれず、高校進学後も利用できる

フリースペースえん会員 年齢別内訳

	男子	女子	計(名)
小学生	11	11	22
中学生	17	9	26
高校年齢	17	8	25
18歳以上	23	9	32
計	68	37	105

(2014年9月末現在)

障害者手帳及び
 診断を受けている



生活保護受給及び
 生活困窮家庭



2014年9月末現在の登録者より

不登校の定義

「・・・年間30日以上欠席した者のうち、
病気や経済的な理由による者を除く」

不登校支援の網からも
こぼれる(?)子どもたち

【基本理念】

自己肯定感を育む居場所づくり

「**生きている**」ただそれだけで
祝福される

そんな場をみんなで作って
いきたいと考えています。

昼食づくり（毎日）



おいしい・うれしい
たのしい

畑の作物を収穫

直火を使って
野外調理



自分でつくるプログラム

～一日の過ごし方は、自分で決める～





選択できる
たくさんの講座から

ジャンベをたたこう
講師：B.B.モフラン

フォルクローレを
演奏しよう
講師：TOYO草薙
長岡竜介




演劇
講師：片岡 五郎

ジャズ・ダンス
講師：西崎 小恵子




歌
講師：桜井 純恵




サイエンスミニシアター
(仮説実験授業)
講師：平林 浩

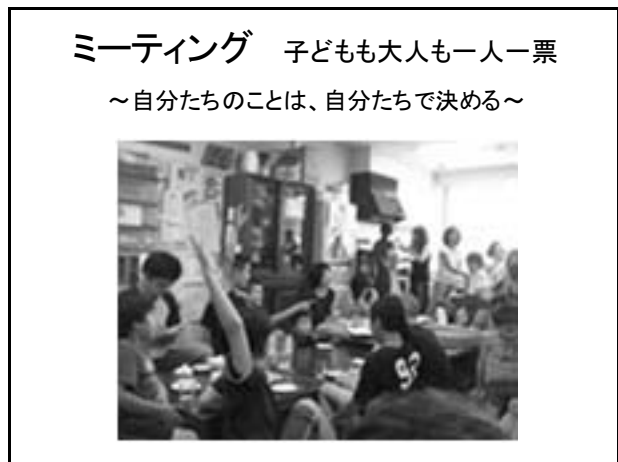



食べものから世界へ
(ESD)
講師：開発教育協会



自然エネルギーで遊ぼう



個人相談（無料）

電話・来所による
相談・援助活動

対象：本人、保護者、
教員・援助職

**保護者会（偶数月）、
若者たちの懇親会（奇数月）
を交互に開催**



**子どものいのちを真ん中におき、「子どもの
最善の利益は何か」を問い続けてきた。**

**「子どもを無理やり既存の制度に合わせ
ようとするのではなく、子どものいのち
のほうに制度や仕組みを引き寄せる」**



多様性を育む「十人十色」

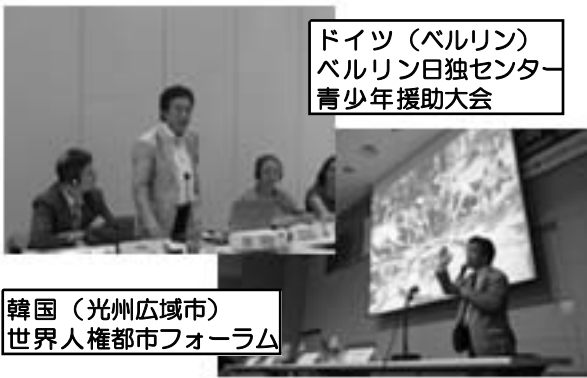


2013年度

**ESDグッドプラクティス
10事例
評価・顕彰事業に選定**



子どもにやさしいまちづくり（UNICEF）



**ドイツ（ベルリン）
ベルリン日独センター
青少年援助大会**

**韓国（光州広域市）
世界人権都市フォーラム**